

土木学会論文報告集

No. 209, 1973-1

リブ付台形桁の断面変形挙動とダイヤフラムの 効果.....	奥坂 村井 敏藤 恵一	1
地中埋設管の振動特性に関する二、三の研究.....	後土高 藤岐田 尚憲 男三郎	15
二次せん断変形を考慮した曲げねじり理論と数値 計算.....	佐伯 昇	27
飽和した多孔質弾性体中を伝播する非線形波動に ついて.....	後佐 藤藤 尚忠 男信	37
固化体中放射性核種の浸出過程とその解析方法に ついて.....	寺島 泰	51
大都市域内の局地大気汚染濃度予測に関する研究.....	平池 岡田 正有 勝光	63
管路内跳水に関する基礎的研究.....	中祢 川津 博家 次久	73
沈殿池の操作変数に関する一理論的考察.....	高井芝 松上 武頼定 一郎輝孝	85
砂の応力-ひずみ関係についての一考察.....	岩崎 峯夫	95
物理化学的見地からのいわゆるヘドロの工学的 性質について.....	松嘉 尾門 新一郎 史	103
DP による系統信号の最適化とシミュレーション による検討.....	枝久藤 村井 俊郎 守史雄	115
コンクリート強度の早期推定に関する一研究.....	神石 田渡 章 衛介	123
通勤者の経路別分担率モデルについて (英文)	河上 省吾	131

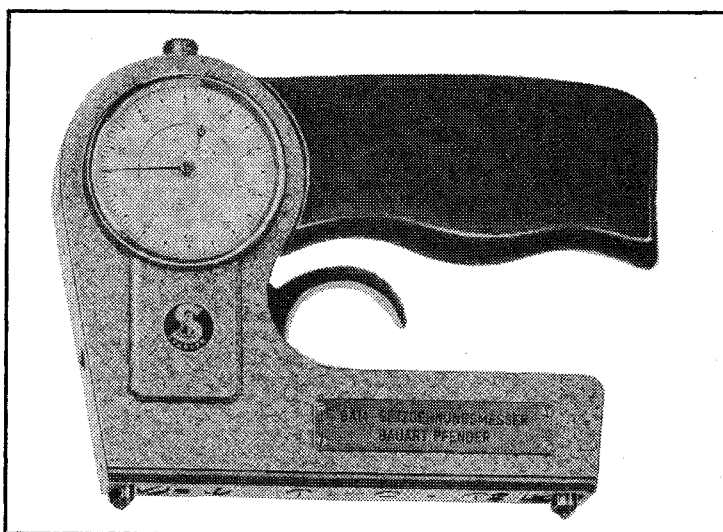
10年間ベスト・セラーを続ける



Contact-Type Strain Gauge !

《コンタクト型歪測定器》

全国の大手、一流企業の溶研、中研や大学、官庁に納入実績が延べ数百台に及びなお人気上昇中!



機械的方法による静的歪測定

* 特長

消耗品は1.6φmm鋼球だけ。維持費は極めて安価
軽便で片手操作でも確実な測定が出来る。

測定標点の設定は確実で耐久性がありラフな条件にも可能誰でも簡単に測定ができ、長期的検査測定も出来る。

* 用途

造機、造船、鉄骨橋梁に於ける構造部分の歪測定を始めコンクリート、紙類、プラスチック等の歪測定が出来る。

* 仕様

本体による測定標点距離 $l=100-60-40-20\text{mm}$

BAMアダプター併用による測定距離 $l=20\text{mm}, 10\text{mm}$

延長部品併用による測定距離 $l=200\text{mm}, 300\text{mm}$

(猶、別に500mm用延長部品もある)

これによる測定可能な伸び若しくは収縮の範囲は±0.5mm

測定精度 1/1000mm

(鋼の抗張力試験に於ては、100mmの測定標点距離をとることにより、0.2kg/mm²に至る迄正確に測定出来る)

ドイツ・フリッツステーゲル社・日本総代理店



愛知産業株式會社

本社 東京都品川区北品川5-3-20 千141 電話東京(03)441-5116(代)
(03)443-0201(代)

関西支社 神戸市兵庫区大開通8-2 千652 電話神戸(078)576-7214(代)

営業所 広島 電話(0822)21-5414

出張所 水戸 電話(0292)31-3709 千葉 電話(0472)41-2908

PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

No. 209, January 1973

C O N T E N T S

- Distortional Behaviours and Influence of Diaphragms in Ribbed Trapezoidal Box
Girders
By Toshie Okumura and Fujikazu Sakai 1
- A Few Studies on the Vibrational Characteristics of Under-Ground Pipe
By Hisao Goto, Kenzo Toki and Shiro Takada 15
- Warping Torsion Theory in Consideration of the Deformation Due to Secondary
Shearing Stress and Its Numerical Examples
By Noboru Saiki 27
- On the Non-Linear Wave Propagation in a Saturated Porous Elastic Solid
By Hisao Goto and Tadanobu Sato 37
- On the Leaching Process of Radionuclide from Solidified Wastes and Its Mathematical
Analyses
By Yutaka Terasima 51
- Prediction of Air Pollution Concentration in Urban Area
By Masakatsu Hiraoka and Yuko Ikeda 63
- Fundamental Study on Hydraulics Jump in a Closed Conduit
By Hiroji Nakagawa and Iehisa Nezu 73
- A Theoretical Study on Operating Variables of Settling Basin
By Takeichiro Takamatsu, Yoriteru Inoue and Sadataka Shiba 85
- A Study of the Stress-Strain Relationship of a Sand
By Mineo Iwasaki 95
- On the Engineering Properties of the Socalled Hedoro from the Physico-chemical
Points of View
By Shinichiro Matsuo and Masashi Kamon 103
- Optimum Setting of the Offsets of Coordinated Signals by Dynamic Programming and
Its Evaluation
By Toshiro Edamura, Mamoru Hisai and Toshio Fujii 115
- A Study on Early Estimation of Concrete Strength
By Mamoru Kanda and Shousuke Ishiwata 123
- A Model of Travel Route Choice for Commuters
By Shōgo Kawakami 131
-

The Japan Society of Civil Engineers

Yotsuya 1-chome Shinjuku-ku, Tokyo

JAPAN

土木学会論文集投稿要項要約

1. 投稿者：本会会員，ただし連名の場合は1人以上が会員であること。
2. 原稿提出期日：随時
3. 原稿の書き方について：土木学会投稿の手引き第3章参照。
 - 提出部数：正原稿（図・表・写真とも）および複写3通。
 - 図表について：正図はそのまま製版できるよう白か透明の紙に縮尺を考慮して必ずスミ入れする（線図・文字・符号などすべてスミ入れすること）。
 - 表は原則として活字で組むが，表の中に図が入る場合，複雑な表はすべてスミ入れするものとする。
4. 論文報告の長さ：論文報告1編の長さは原則として刷上り図表を含み10ページ以内とする。ただし，6ページまでの超過は認めるが，その費用はすべて著者の実費負担とする。
5. 和文要旨について：和文要旨は図・表・写真を含み刷上り0.5ページ（800字～900字）として4部提出する。なお，投稿の手引き（6ページ）に記述してある「7. 欧文要旨」は現在必要ありませんのでお含みおき下さい。
6. 討議について：討議は土木学会論文報告集に掲載されたものを対象とし，論文報告集掲載後6カ月以内を原則とする。
7. 査読について：査読は次の5部門で行なうので投稿原稿はどの部門に属するかを明記する。
 - 第1部門：応用力学・構造力学・構造工学・橋梁一般・鋼橋等
 - 第2部門：水理学・水門学・河川工学・港湾工学・海岸工学・発電水力・衛生工学等
 - 第3部門：土質力学・基礎工学・岩盤力学等
 - 第4部門：道路工学・鉄道工学・交通計画・都市計画・国土計画・測量等
 - 第5部門：土木材料・土木施工法・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学等

土木学会論文集編集委員

◎ 印 主 査 ○ 印 幹 事

委員長	久野悟郎	副委員長	◎室田明	委員	田中康之	委員	松井正弘
委員	秋山成興	委員	柿崎博雄	委員	高木不折	委員	松浦嘉章
〃	青柳史郎	〃	片倉正彦	〃	玉井恒雄	〃	◎松浦嘉章
〃	青柳征夫	〃	片金子光美	〃	土岐村良	〃	〃三浦田尚
〃	赤松惟夫	〃	〇川口昌宏	〃	中村宏夫	〃	〃宮村俊
〃	石沢成夫	〃	〇喜田三三	〃	〇中山義	〃	〃宮村俊
〃	市川新徳	〃	〃北原一	〃	〇中村重	〃	〃宮村俊
〃	◎稲岡正美	〃	〃駒田敬一	〃	〇長滝重	〃	〃村野亮
〃	〃岡敏男	〃	〃合田良一	〃	〃永井木	〃	〃森守重
〃	◎岩崎滋	〃	〃佐武正雄	〃	〃波田凱	〃	〃〇矢野信
〃	〃江刺靖行	〃	〃佐馬悦久	〃	〃波田凱	〃	〃〇矢野信
〃	〃遠田喜博	〃	〃斎藤健次郎	〃	〃橋本良	〃	〃安山信
〃	〃大内雅博	〃	〃沢田健吉	〃	〃広田良	〃	〃山内豊
〃	◎岡内功	〃	〇椎貝美	〃	〃星江興	〃	〃山田清
〃	〃奥山英	〃	〃椎名彪	〃	〃堀川興	〃	〃山田清
〃	〃奥村樹郎	〃	〃清水英治	〃	〃堀川浩	〃	〃山田清
〃	〃加来照俊	〃	〃銚川登	〃	〃前田武	〃	〃山田清

土木学会論文報告集 No. 209

定価 450 円 (〒 40 円)

昭和 48 年 1 月 15 日 印刷

昭和 48 年 1 月 20 日 発行

発行者 東京都新宿区四谷1丁目

社団法人 土木学会 専務理事 下村 肇

発行所 社団法人 土木学会 郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目 振替 東京 16828 番 電話 (03) 351-5138